



ねこの本リスト



図書館には分野が異なる「ねこ」がたくさん居ます。色々な「ねこ」を読んで、より深く彼らと親しみ、和んでいきませんか。

()は請求記号です。

うちのまる-養老孟司先生と

猫の営業部長-

養老研究所／著 ソニー・マガジズ (645.7)

大らかな性格で、どっしりと構えている。ひと言で言えば「怠惰」。いつもドテーツとして寝っ転がっている。まるを見ていると、働く気が失せる…。愛猫まると養老先生の癒しの日々を写す。

ねこはすごい

山根明弘／著 朝日新聞出版 (645.7)

時速 50 キロで走る。嗅覚は人間の 10 万倍。1.5メートル跳ぶ。人間の心の病も治癒する…。注目のねこ研究者が、「猫島」での長年のフィールドワークで得た、ねこのすごい生態や行動などを紹介する。

江の島ねこもり食堂

名取佐和子／著 ポプラ社 (F1 ナト)

江の島に「ねこもりさん」と呼ばれる女たちがいた。それは島の猫の世話をするという、とある食堂の隠れた仕事。1915 年のすみゑから、2017 年の麻布まで。ねこもりとして生きた女たちの人生を描く。

ねこと国芳

金子信久／著 パメラ三木／訳
カーステン・マッカイバー／訳 パインターナショナル (721.8)

江戸時代の人気浮世絵師・歌川国芳のそばには、常に何匹ものねこがいた。ねこが登場する美人画、ねこ世界の風俗画など、国芳のねこの浮世絵の数々を解説とともに収録。小説や他の動物をモチーフにした浮世絵、肉筆画も掲載。

アーティストが愛した猫

アリソン・ナスタシ／[編]著 関根光宏／訳
エクснаレッジ (702.8)

ジョン・レノン、ピカソ、ウォーホル、バルテュス…。古今東西の偉大なアーティストとその愛猫をとらえた貴重なアルバム。猫たちとの心温まるエピソードが満載。アーティストの知られざる一面がうかがえる一冊。

猫が歩いた近現代

-化け猫が家族になるまで-

真辺将之／著 吉川弘文館 (645.7)

「化ける・祟る」と恐れられた猫は、いかにして今日の地位を獲得したのか。文豪に愛され、ネズミ駆除で重宝される一方、三味線や毛皮用にも使われた猫たちへのまなざしの変化を描き、人間社会に猫の歴史を位置づける。



物語やエッセイの中の「ねこ」

タイトル	著者表示	出版社	請求記号
新宿の猫	ドリアン助川 著	ポプラ社	F1 トリ
猫をおくる	野中柊 著	新潮社	F1 ノナ
心にいつも猫をかかえて	村山早紀 著	エクスナレッジ	F1 ムラ
たかが猫、されどネコ	群ようこ 著	角川春樹事務所	F1 ムレ
ねこのおうち	柳美里 著	河出書房新社	F1 ユウ
猫も老人も、役立たずでけっこう	養老孟司 著	河出書房新社	F1 ヨウ
なぜ、猫とつきあうのか (講談社学術文庫)	吉本隆明 著	講談社	F1 ヨシ
ネコヅメのよる	町田尚子 作・絵	WAVE 出版	E ネコ



「ねこ」の知識・「ねこ」を研究

タイトル	著者表示	出版社	請求記号
猫たち	フロランス・ビュルガ 著 西山雄二 ほか訳	法政大学出版局	104
石巻・にゃんこ島の奇跡-田代島で始まった“猫たちの復興プロジェクト”-	石丸かずみ 著	アспект	369.31
猫神さま日和	八岩まどか 著	青弓社	387
猫の怪	横山泰子 ほか著	白澤社	388.1
世界で一番美しい野生ネコ図鑑	水口博也 編著 秋山知伸 編著	誠文堂新光社	489.53
魅惑の黒猫-知られざる歴史とエピソード-	ナタリー・セメニーク 著 柴田里芽 訳	グラフィック社	645.7
猫の不思議がわかる本	高倉はるか 著	宝島社	645.7



ひとと一緒に居る「ねこ」

タイトル	著者表示	出版社	請求記号
吾輩のご主人-天才は猫につくられる-	原口緑郎 著	河出書房新社	280.4
ナラの世界へ -子猫とふたり旅自転車世界一周-	ディーン・ニコルソン 著 山名弓子 訳	K&B パブリッシャーズ	290.9
おじさんと河原猫-うちのシロ-	太田康介 著	扶桑社	645.7
猫を助ける仕事-保護猫カフェ、猫付きシェアハウス -	山本葉子 著 松村徹 著	光文社	645.7
猫にいいこと大全-体、心、暮らし+コミュニケーション 冊で猫の生活の質がぐんとアップ-	茂木千恵 監修 荒川真希 監修	主婦の友社	645.7
猫が歳をとったと感じたら.-シニアになったネコの快適な生活のために知っておきたいこと-	高梨奈々 著 阪口貴彦 監修	誠文堂新光社	645.7
伝書ねこチャアチャ	村上伸一 著	朝日新聞出版	645.7
猫が食べると危ない食品・植物・家の中の物図鑑	服部幸 監修	ねこねっこ	645.76